

交流セッション3

北里大学病院におけるクリティカル領域での看護実践モデル －救急看護認定・重症集中ケア認定看護師、北里循環器看護師の実践役割－

コーディネーター 北里大学病院 別府千恵

1996年に日本看護協会による専門看護師制度、認定看護師制度が導入されてから、全国の施設で専門看護師・認定看護師が臨床で活躍している。

北里大学病院では、がん専門看護師2名、重症集中ケア認定看護師2名、救急認定看護師2名、ホスピス認定看護師1名が活動しており、医療の高度化や患者の価値観の多様化に対応し、質の高い看護ケアを提供するために、専門看護師の活動は欠かせないものになっている。また、当院では1992年より北里専門看護師システム検討会（北里大学病院・北里大学東病院・北里大学看護学部合同プロジェクト）が発足し、1996年5月より施設内認定である北里循環器専門看護師の育成が始まり、1998年に4名を認定した。

認定看護師・北里循環器専門看護師は、専門領域の各セクションに配置され、1スタッフとして働きながら、自分の専門性を發揮することが求められている。また認定看護師や北里循環器専門看護師は、各セクションのスタッフであると共に病院全体での資源であり、求められれば他の病棟で活動することもあり、自主的に活動することもある。各セクションで中堅ナースが担っている各セクションにおける役割モデルとは異なり、病院全体における専門領域での実践役割モデルとして活動することが求められている。彼らが専門性を一般的な業務の中に埋没させないシステムも組織に求められており、北里大学病院看護部では、3ヶ月に1回これら専門・認定看護師の活動を支援する連絡会を開催している。

今回この交流セッションではクリティカル領域の認定看護師、北里専門看護師である3名に活動の実際を紹介してもらう。病院経営の厳しい昨今、独立した活動が行えるポジションを提供できるような環境は甚だ困難である。また、組織運営上それがもっとも良い方法かも議論の余地がある。会場から忌憚のないご意見を頂きたい。

プレゼンター

石井美恵子 北里大学病院救命救急センター看護主任

救急認定看護師

明神 哲也 北里大学病院 ICU・CCU 看護主任

重症集中ケア認定看護師、呼吸療法認定士

岩村 貴美 北里大学病院心臓リハビリテーション室看護主任

北里循環器専門看護師